



卒業を迎えて

3年生の皆さんへ

2020年4月、世界中がコロナ禍による混乱の中、皆さんは大成中学校に入学しました。緊急事態宣言の下、運動場での入学式となりました。その後、分散登校などもあり、不安な気持ちで学校生活を送っていたことと思います。そんな中でも、皆さんが元気に登校してくる姿を見て、我々教職員も勇気をもらいました。そのことについて、改めてお礼を言いたいと思います。ありがとう。

早いもので、あれから3年経とうとしており、卒業式まで残りわずかとなりました。中学校生活はどうでしたか？「あっという間の3年間だった」と思える人は充実した学校生活を送っていたかもしれませんね（^^）

中学校の3年が終わると、義務教育の9年間が終了することになります。この9年間は皆さんが社会へ出ていくために、最低限身につけておかなくてはならない「知識」や「経験」を小学校や中学校で学ぶ期間でした。ですから、4月1日からは、「社会人」または、「大人」として扱われることが多くなります。つまり、「子供」として猶予されることが少なくなり、自らの言動に責任を取らなくてはならない場面が多くなるということです。例えば、高校生になると、欠席が出席日数の3分の1を超えたり、テストの点数が悪ければ、「進級」できないことがあります。また、なにか問題を起せば「停学」や場合によっては「退学」の処分を受けることがあります。また、「遅刻」などもペナルティーを課せられることがあります。このようなことから、中学校を卒業すると同時に、子供扱いされていた「甘え」からも卒業してほしいと思います。

少し厳しいことを書きましたが、皆さんに明るく幸せな未来が待っていることを願っています。



1年生 性教育講座

2月9日（木）、神戸市看護大学ピアカウンセラーの学生11名を迎えて、1年生を対象に「性教育講座」を行いました。性的発達とともに異性または同性への関心が高まったり、性衝動が生じたりすることで、自分本位の行動に走ってしまいがちな一面がみられる思春期の生徒に、自他尊重を理解し、性に関する適切な態度や行動の選択について考えさせることを、ねらいとしています。



学習テーマ

- ① 自分の人生を振り返り、周囲のたくさんの人の存在に気付く。
- ② 自分と他人の感じ方、価値観、人生が違うことに気付く。
- ③ 性的（接近・接触）欲求が芽生え始める時期であることを知る。
- ④ 異性愛も同性愛も自然なことであることを知る。
- ⑤ 相手を尊重したうえで、自己決定をする権利があることを知る。

授業紹介(1年社会)



南アメリカ州の授業で、「ブラジルにみる開発と環境保全」について、生徒たちはアマゾンの熱帯林の伐採が必要かどうかを考えるという授業でした。メリットやデメリットをグループで話し合ったり、ネットで調べたりしたことを、元気に発表していました。最後に熱帯林の伐採の賛成・反対についてまとめた意見をアンケートで集め、ロイロノートでタブレットの画面上で共有していました。

3月の主な予定

- | | |
|------------------|----------------|
| 1日（水）全校集会・専門委員会 | 10日（金）公立一般入試 |
| 7日（火）卒業式予行 | 17日（金）公立入試合格発表 |
| 8日（水）卒業式準備 | 20日（月）球技大会（1年） |
| 9日（木）第61回卒業証書授与式 | 22日（水）球技大会（2年） |
| | 24日（金）修了式 |